

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

1 事業情報

担当課

下水道建設課

実施方針	Ⅱ 安全・安心なくらしの実現	施策目標	1 浸水に対する安全・安心なまちづくりを推進します	施策	① 計画的な下水道(雨水)整備の推進
------	----------------	------	---------------------------	----	--------------------

2 事業評価の概要

視点	内容							
何のために【施策目標】	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、引き続き、下水道(雨水)の整備に取り組みます。							
どんな問題を解決するか【施策】	土地利用の変化や低い土地の形状などに伴い浸水被害が発生している地域では、雨水管きよを整備するほか、貯留施設などの整備を検討します。							
どのような道筋で【目標】(単年度)	①浸水被害が発生している地域に、雨水管きよを0.4km整備します。 ②東川口駅周辺浸水対策工事に着手するための、支障物切り廻し工事等を実施します。							
期間	平成31年4月		～		令和2年3月			
いくらかけて【予算額・決算額】	予算額				決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益の支出	資本的支出	総事業費	収益の支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	322,316	0	322,316	309,823	0	309,823	96%
	工事費	218,119		218,119	218,119		218,119	100%
	原材料費	0			0			
	委託料	56,041		56,041	44,767		44,767	80%
	賃借料	0			0			
	その他	48,156		48,156	46,937		46,937	97%
人件費	18,960		18,960	18,960		18,960	100%	
どういふ成果を達成するか【成果指標】	①浸水被害が発生している地域に、雨水管きよを0.4km整備された状態。 ②東川口駅周辺浸水対策工事に着手するための、支障物切り廻し工事等を実施した状態。							

3 プロセス結果の検証

評点	視点	内容					
中間評価 □	上半期何をどのように執行したか【現状把握】	①浸水被害が発生している地域に、雨水管きよを0.4km整備中である。 ②東川口駅周辺浸水対策工事に係るシールド工事に支障となる支障物切廻し工事を依頼し、資材価格調査等を行い、10月の発注準備を行った。					
75点	下半期改善すべき点は何か【改善目標】	①引き続き、雨水管きよを0.4km整備していく。 ②東川口駅周辺浸水対策工事に着手するため、支障物切廻し工事を実施する。					
	どのくらい進んだか【進捗度】	執行(契約)事業費	177,116千円	事業進捗度	自己評価	B 予定通りの成果を上げた	
	予算執行率	57%	評価者結果		B 予定通りの成果を上げた		
終了時評価	どういふ成果を達成したか【達成状況】	①浸水被害が発生している地域に、雨水管きよを0.4km整備した。 ②東川口駅周辺浸水対策工事に係るシールド工事に支障となる支障物切廻し工事を実施した。また、資材価格調査等により発注を行い、10月に工事契約し、工事を開始した。					
78点	次年度に解決すべき点は何か【次年度解決策】	今後、浸水対策を実施していく地域について、最も効果的かつ効率的な整備方法、整備地域を検討していく。					

単年度下水道事業評価シート(令和元年度)

4 改善経過の点検と評価

視点	項目	評点	5 常に全員	4 概ね多数	3 一部	2 あまり~ない	1 ほとんど~ない	中間	終了	
人員	意識	この事業による社会全体への貢献を職員は常に意識していますか？						4	4	
	適材適数	業務の適正に応じた柔軟な偏りのない業務分担を行っていますか？						4	4	
中間	16	成果	課の職員が事業の成果や目的を意識していますか？						4	4
終了	16	連携	この事業に必要な連携(局内・市長部局・委託業者等・県等)はできていますか？						4	4
手段	手段	目的達成に必要な手段や方法は、既成概念に囚われず、新たな視点で検討していますか？						4	4	
	可視化共有	目的達成に必要な手段や方法を、可視化し、情報共有していますか？						4	4	
中間	15	方法	当初計画や予定よりも優れた代替方法を検討していますか？						4	4
終了	16	目的化	この事業は、上位目的達成の手段として有効であることが、組織で理解されていますか？						3	4
工程	進め方	目的を達成する工程が、全体最適の視点から作られていますか？						4	4	
	合目的性	下水道使用者の視点に立ち、ニーズや利便性を反映した改善をしていますか？						3	3	
中間	15	学習	課題・問題点が発生したら、その都度、プロセス全体を検証し改善していますか？						4	4
終了	15	当事者意識	職員が主体的に行動していますか？						4	4
予算	利益	上下水道局の利益ばかりでなく、社会全体の利益まで意識していますか？						3	3	
	効果効率	より低いコストで成果をあげる工夫を施し予定以上の費用対効果を出していますか？						3	4	
中間	14	コスト検証	当初計画や予定よりも優れた代替方法による予算の効率的活用が常に検討されていますか？						4	4
終了	15	成果	成果指標を上まわっていますか？						4	4
期間	タイムマネジメント	工程を構造化したタイムスケジュールを可視化・共有し、停滞時間削減に取り組んでいますか？						4	4	
	タイムコスト	時間=コストを意識し、ムリ・ムラ・ムダの検証を行っていますか？						4	4	
中間	15	期間の設定	業務集中を避け、局全体の事業執行を最適化するように期間を設定していますか？						3	4
終了	16	成果達成	短期間で成果を達成するよう、期間を検討し、進捗を確認、期間修正を行っていますか？						4	4

5 事後評価

指標					R1	R2	R3	
指標名	整備排水区数(累計)	単位	排水区	目標値	3	4	4	
算出式・根拠				実績値	3			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

視点	自己評価	評価根拠の説明(自己評価の根拠を具体的に記述します。不達成の場合は、原因、改善策を明示します。) A=予定以上の成果を上げた / B=予定通りの成果を上げた / C=成果は出ているが予定に達していない D=結果は出ているが成果は出していない / E=不十分な結果にとどまる、または結果が出ていない	評価者結果
達成度	B	・浸水被害が発生している地域に、雨水管きよを0.4km整備した。 ・東川口駅周辺浸水対策工事に係るシールド工事に支障となる支障物切廻し工事を実施した。	B
効率性	B	道路工事等の重複している箇所について、工事時期や本復旧の方法を担当課と協議・調整し、効率的に工事を行った。また、他企業管の移設等を事前に実施することで、遅滞なく工事を実施した。	B
有効性	B	土地利用の変化や低い土地の形状などの地域に雨水管きよを整備し、浸水被害を軽減することに貢献した。	B
説明責任	B	工事着手約1か月前に、地域住民や町会長等に直接伺い、工事時期、迂回路、通行止め箇所等工事内容について詳細に事前調整を行い、工事への理解を得るようにした。	B
組織学習	B	設計基準等を整理し共有することで課内で設計指針を確立し、設計委託業者に一貫した指導を行うことができた。また、下水道展や新工法の研修等に積極的に参加することで、知識の向上を図った。	B
総合評価	B	・浸水被害が発生している地域に、雨水管きよ等の整備を行った。 ・工事調整等により効率的に工事を実施し、地域住民等から工事への理解を得ることで、工期内に苦情なく工事を完了させた。	次年度方針 現状維持で継続 B